

## 6. 消火器試験結果報告書の記入要領

試験結果報告書の記載に当たっては、次によること。

### (1) 各欄の共通事項

- ① 結果欄等のうち選択肢が設けられているものにあつては、該当するものを○で囲むこと。
- ② 試験結果の欄には、「－」の附されている部分を除き、試験の結果を「良、不良」、「適、否」又は「○、×」のいずれかを用いて記入すること。

### (2) 各欄の記載要領

#### ① 実施日

消火器を設置し、試験を実施した年月日を記入すること。なお、試験が数日にわたる場合は、試験の終了した年月日を記入すること。

#### ② 実施者

消火器を設置し、かつ、試験を実施した者又は責任者の住所氏名を記入すること。

#### ③ 防火対象物の概要

##### a 用途

消防法施行令別表第Iに掲げる用途ごとの項番号を記入すること。また、項番号の後に用途名を記入すること。

##### b 構造

選択肢の該当するものを○で囲むこと。

##### c 延べ面積

防火対象物の延べ面積（単位 $m^2$ 、小数点以下切捨て）を記入すること。

### (3) 試験項目別欄ごとの記入要領は、次のとおりである。

- ① 階－消火器が設置されている階を下階から順に記入すること。また、階数等が多く記入できない場合は、適宜用紙等を追加すること。
- ② 用途－その階の主たる用途を記入すること。また、付加設置すべき部分がある場合には、その名称を記入すること。
- ③ 消火器の種別及び個数－当該階に設置されている消火器の種別ごとの個数及びその合計を記入すること。
- ④ 能力単位－当該階に設置されている消火器のA火災に対する能力単位の合計をA欄に、B火災に対する能力単位の合計をB欄に記入すること。

記入例

別記様式第1

消 火 器 試 験 結 果 報 告 書

実施日 ○年 ○月 ○日

実施者

住 所 大阪市西区○所1-20

氏 名 乙野次郎 印

用 途 (15)項 ・ 事務所 構 造 耐火構造で内装制限したもの その他

延べ面積 3,000 m<sup>2</sup> 必要能力単位 7.5 緩和対象の消火設備 (有) 無

付加設置部分の有無 (有) (少量危険物)・指定可燃物 (電気設備)・(火気使用設備) 無

階	用 途	消火器の種別及び個数						能 力 単 位			結 果				
		(a)	b	(c)	d	(e)	f	合計	A	B	C	適応性	設置場 所等	標 識	機 器
B1	機械室	2		2				4	10	16	0	良	良	良	良
B1	ホウ-電控	2				1		3	8	18	0	良	良	良	良
1	事務所	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
2	"	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
3	"	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
4	"	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
5	"	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
6	"	1		2				3	7	9	0	良	良	良	良
合 計		10		14		1		25	60	88					

備 考 防火対象物：大阪市北区○-○ 株式会社○○

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。  
 3 aは粉末消火器、bは泡消火器、cは強化液消火器、dは二酸化炭素消火器、eはハロゲン化物消火器及びfは水消火器をいう。また、能力単位C欄は、該当する消火器が設置してある場合に○印で記入すること。  
 4 付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。  
 5 結果の欄には、良否を記入すること。